

# プログラム

## ■ 開会の辞

8月21日 15:50~16:00 第1会場

## ■ 国際シンポジウム 腫瘍という場 T細胞の浸潤機構と活性

8月21日 16:00~19:00 第1会場

座長：西村 泰治（熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学分野）  
宇高 恵子（高知大学医学部 免疫学）

### IS-1 腫瘍組織における血管形成と腫瘍免疫の関係

高倉 伸幸  
大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野

### IS-2 Antigen specific infiltration of T cells guided by tumor endothelial cells.

○Keiko Udaka, Toshihiro Komatsu, Yasushi Noguchi  
Department of Immunology, School of Medicine, Kochi University

### IS-3 NR4A transcription factors limit CAR T cell function in solid tumors

○Joyce Chen, Isaac F. López-Moyado, Hyungseok Seo, Chan-Wang J. Lio,  
Laura J. Hempleman, Takashi Sekiya, Akihiko Yoshimura, James P. Scott-Browne,  
Anjana Rao  
University of California, San Diego School of Medicine

### IS-4 CAR マイクロクラスターによる腫瘍抗原の認識と CAR-T 細胞活性化の時空間的制御機構

○横須賀 忠<sup>1)</sup>、若松 英<sup>1)</sup>、矢那瀬紀子<sup>1)</sup>、秦 喜久美<sup>1)</sup>、竹原 朋宏<sup>1,2)</sup>、西 航<sup>1,3)</sup>、  
Maksim Mamokin<sup>4)</sup>、Malcolm K. Brenner<sup>4)</sup>、町山 裕亮<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>東京医科大学 免疫学分野、<sup>2)</sup>慶應義塾大学 呼吸器内科、<sup>3)</sup>熊本大学 呼吸器外科、  
<sup>4)</sup>Center for Cell and Gene Therapy, Baylor College of Medicine

## ■ モーニングセミナー がんゲノム医療時代のがん免疫療法

8月22日 8:00~8:50 第1会場

座長：スコット・トーマス（イルミナ株式会社 代表取締役）  
【共催：イルミナ株式会社】

### MS Immunogenomics and Immunotherapy

中村 祐輔  
公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター

■ ランチョンセミナー 1

8月22日 12:00~12:50 第1会場

座長：門脇 則光 (香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科)

【共催：中外製薬株式会社】

LS1 がん抗原に対する B 細胞免疫応答

大植 祥弘

国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫トランスレショナルリサーチ分野

■ ランチョンセミナー 2

臨床におけるがん免疫治療の data gap と Translational Research

8月22日 12:00~12:50 第2会場

座長：植村 天受 (近畿大学医学部 泌尿器科学教室)

【共催：アストラゼネカ株式会社】

LS2-1 尿路上皮がんにおける免疫チェックポイント阻害剤治療の現状と

がん免疫基礎研究への期待

齊藤 亮一

関西医科大学 腎泌尿器外科学講座

LS2-2 がん免疫微小環境に関する translational research

～Preclinical model から臨床検体まで～

小山 正平

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

■ Keynote Lecture

8月22日 13:00~14:00 第1会場

座長：河本 宏 (京都大学ウイルス・再生医科学研究所 再生免疫学分野 河本宏研究室)

KL 制御性 T 細胞とがん免疫

坂口 志文

WPI大阪大学免疫学フロンティア研究センター・実験免疫学

■ シンポジウム 1 (バイオセラピー学会合同シンポジウム)

『がん免疫療法 実用化の時代』

～あなたが抱く基礎・臨床の課題を皆で考える 2019～

8月22日 14:10～17:00 第1会場

座長：河上 裕 (国際医療福祉大学医学部・慶應義塾大学医学部 先端医学研究所)

山口 佳之 (川崎医科大学 臨床腫瘍学)

【共催：MSD 株式会社】

S1-1 免疫チェックポイント阻害薬の臨床開発の現状と課題

鈴木 弘行

福島県立医科大学

S1-2 抗がん剤と免疫療法の併用療法の機序をどう思いますか？

富樫 庸介

国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野・先端医療開発センター免疫TR分野

S1-3 臨床研究視点から考える免疫原性の重要性

濱西 潤三

京都大学医学部附属病院 産科婦人科

S1-4 がん細胞特異的な T 細胞応答を誘導するネオアンチゲンとは？

金関 貴幸

札幌医科大学 病理学第一講座

パネルディスカッション

お手持ちのモバイル端末からシンポジウム中いつでもご質問やコメントが投稿できます。

■ シンポジウム 2 腫瘍微小環境と免疫抑制

8月22日 14:10～16:10 第2会場

座長：和田 尚 (大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学)

八木田秀雄 (順天堂大学医学部 免疫学講座)

S2-1 腫瘍局所マクロファージの抗原提示能誘発による難治性腫瘍の克服

村岡 大輔

長崎大学大学院医歯薬総合研究科 腫瘍医学

S2-2 がん微小環境に存在する IL-34 はがん治療の効果を著しく阻害する

清野研一郎

北海道大学 遺伝子病制御研究所

S2-3 Reduced Neoantigen Expression Revealed by Longitudinal Multiomics as a Possible Immune Evasion Mechanism in Glioma

Hirokazu Matsushita<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup>Division of Translational Oncoimmunology, Aichi Cancer Center Research Institute,

<sup>2)</sup>Division of Cancer Immunogenomics, Nagoya University Graduate School of Medicine

**S2-4 蛍光多重標識法による腫瘍微小環境の組織学的解析**

佐藤 永一

東京医科大学医学総合研究所 病理・画像部門

---

**■ シンポジウム3 腫瘍抗原、ネオアンチゲン～個別化免疫療法への展望～**

8月22日 16:20～17:50 第2会場

---

座長：山田 亮（久留米大学 先端癌治療研究センター がんワクチン分子部門）

中面 哲也（国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野）

**S3-1 腫瘍抗原、ネオアンチゲン～個別化ワクチン療法の開発**

中面 哲也

国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野

**S3-2 個別化T細胞療法の開発**

池田 裕明

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍医学分野

**S3-3 腫瘍抗原、ネオアンチゲン～個別化免疫療法の開発**

宮原 慶裕

三重大学大学院医学系研究科 個別化がん免疫治療学

---

**■ ランチョンセミナー3 がんゲノムと腫瘍免疫**

8月23日 12:00～12:50 第1会場

---

座長：垣見 和宏（東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座）

【共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社】

**LS3 宿主免疫から逃れ続けるがんゲノムと免疫療法の仁義なき闘争**

柴田 龍弘

東京大学 医科学研究所 ゲノム医科学分野

---

**■ ランチョンセミナー4**

8月23日 12:00～12:50 第2会場

---

座長：河上 裕（国際医療福祉大学 医学部、慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門）

【協賛：NEC】

**LS4 抑制性免疫補助受容体によるがん免疫と自己免疫の制御**

○岡崎 拓、丸橋 拓海、杉浦 大祐、清水 謙次、岡崎 一美

徳島大学先端酵素学研究所 免疫制御学分野

## ■ シンポジウム 4 がん免疫細胞療法

8 月 23 日 13:30~15:55 第 1 会場

座長：池田 裕明（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍医学分野）  
玉田 耕治（山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座）

- S4-1 Genetically re-directed  $\gamma/\delta$ -T cells towards cancer antigens ; another promising player of anticancer immunotherapy?**  
Hiroshi Fujiwara  
Department of Personalized Cancer Immunotherapy, Mie University Graduate School of Medicine
- S4-2 PiggyBac トランスポゾンを用いた非ウイルス遺伝子改変 CAR-T 療法の開発**  
中沢 洋三  
信州大学医学部 小児医学教室
- S4-3 がん治療への応用を目指した再生 T 細胞研究**  
金子 新  
京都大学iPS細胞研究所 (CiRA)
- S4-4 樹状細胞を標的とするがんワクチン “人工アジュバントベクター細胞” 療法**  
藤井眞一郎<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup>国立開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム、  
<sup>2)</sup>同 創薬・医療技術基盤プログラム
- S4-5 幹細胞様メモリー T 細胞 (iTscm) 誘導による効果的がん細胞療法の開発**  
○吉村 昭彦、安藤 眞、近藤 泰介  
慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学教室

## ■ シンポジウム 5 代謝とがん免疫、免疫応答のモニター法

8 月 23 日 13:30~15:30 第 2 会場

座長：鵜殿平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座 免疫学分野）  
垣見 和宏（東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座）

- S5-1 抗腫瘍 T 細胞における解糖、グルタミン分解の役割**  
籠谷 勇紀  
東京大学医学部附属病院 無菌治療部
- S5-2 免疫代謝解析による PD-1 抗体がん免疫治療の効果予測マーカーの同定とその意義**  
○茶本 健司、波多江龍亮、本庶 佑  
京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学講座
- S5-3 経時的・臓器横断的 TCR レパトア解析による抗腫瘍免疫モニタリング**  
上羽 悟史  
東京理科大学 生命医科学研究科 炎症・免疫難病制御部門

#### S5-4 肝臓がんの免疫ゲノム解析に基づくサブクラス分類

○藤田 征志<sup>1)</sup>、山口 類<sup>2)</sup>、有廣 光司<sup>3)</sup>、島田 周<sup>4)</sup>、宮野 悟<sup>2)</sup>、山上 裕機<sup>5)</sup>、  
茶山 一彰<sup>6)</sup>、垣見 和宏<sup>7)</sup>、田中 真二<sup>4)</sup>、井元 清哉<sup>2)</sup>、中川 英刀<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>理化学研究所 生命医科学研究センター、<sup>2)</sup>東京大学 医科学研究所、<sup>3)</sup>広島大学病院 病理診断科、

<sup>4)</sup>東京医科歯科大学 分子腫瘍医科学、<sup>5)</sup>和歌山県立医科大学 第2外科、<sup>6)</sup>広島大学 消化器・代謝内科、

<sup>7)</sup>東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療

---

#### ■ 閉会の辞

8月23日 16:00~16:10 第1会場

---